

詩人 新川和江 その足跡をたどる

結城が生んだ詩人・新川和江さん。現在は、東京都内に住まいながら、結城に思いを馳せられています。

毎年2月に行われる、子どもたちの詩のコンクール「新川和江賞」。名誉市民であり、そしてゆうき図書館名誉館長でもある新川さんが「生まれ故郷の結城でなら」と、自身の名を冠した唯一のコンクールです。

今回は、新川さんの足跡をたどりながら、第14回新川和江賞の様子をお伝えします。

* この写真は2009年(平成21年)に撮影したものです。

略 歴

- 1929年(昭和4年) 結城郡絹川村小森に生まれる
県立結城高等女学校(現結城第二高等学校)時代、下館町に疎開してきた詩人・西條八十から詩の手ほどきを受ける
戦後上京し、少女雑誌や学習雑誌に詩や小説を執筆する
- 1953年(昭和28年) 第一詩集「^{ねむ}睡り椅子」を刊行
- 1960年(昭和35年) 「季節の花詩集」で小学館文学賞受賞 ほか受賞作多数
- 1981年(昭和56年) 日本現代詩人会理事長に就任
- 1982年(昭和57年) 産経新聞一面に連日掲載の「朝の詩」が始まり 2018年(平成30年)まで36年間にわたり選者をつとめる
- 1983年(昭和58年) 吉原幸子とともに女性詩人を中心とする季刊詩誌「現代詩ラ・メール」を創刊。1993年(平成5年)の終刊まで編集に携わり、女性詩人の活動を支援する
- 1984年(昭和59年) 結城市民栄誉賞を受賞
- 2000年(平成12年) 勲四等瑞宝章を受章
- 2001年(平成13年) 結城市名誉市民の称号が贈られる
- 2004年(平成16年) ゆうき図書館名誉館長に就任。同年11月、詩をとおして人生などさまざまなことを語り合える場「センダンの木の集い」を創設し、母校絹川小学校で開始する
- 2008年(平成20年) 「新川和江賞～未来をひらく詩のコンクール～」を創設



幼少期の姿



15歳のとき、西條八十の書齋へはじめて抱えて行った自作ノート。表紙は同氏の詩集をまねて、自身で装釘している。



「現代詩ラ・メール」創刊記念パーティー

(左から)
小海智子さん、津島祐子さん、
新川さん、吉原幸子さん、
李礼仙さん

新川和江さん 特別寄稿

「ふるさとの山はありがたきかな」

たくぼく
(と啄木もうたっていますので)

東京に住むようになって間もなくの頃、こんな詩を書いたことがあります。

私のふるさとは
東北本線を小山で降りて
エンピツ書きのような支線に乗りかえ
筑波のむらさが少しづつ濃くなるほうへ
ことごと揺られて行ったところ

あれから数十年、車椅子暮らしの老人になった今でも、思い出すのは、田んぼの上を吹き渡ってくる風に、セーラー服の胸のリボンをこころよく揺すられながら、東の空に見上げた、あの二つの峯のことなのです。

戦時下の結城高女については、長くなりますので次の機会にゆずらせて頂きますが、平和の時代が到来し、結婚をして上京した私は、学習雑誌や少女雑誌に詩や物語をせっせと書くようになりました。「小学館文学賞」という賞を頂いてからは、主として NHK の音楽番組「あなたのメロディー」などいくつかの番組に、呼び出されるようになりました。

ある年の正月のこと、「ふるさと対談」という番組が企画され、名を挙げれば皆さんご存じの映画スターや女優さん、スポーツマン、小説家、映画監督、財界人と、肩の凝らないお喋りをするよう命じられました。その中のお一人である三井不動産の江戸英雄氏のご生家が、<筑波学園都市>とあって、結城よりもっと間近でなつかしの山が見られそうだと、わくわくしました。

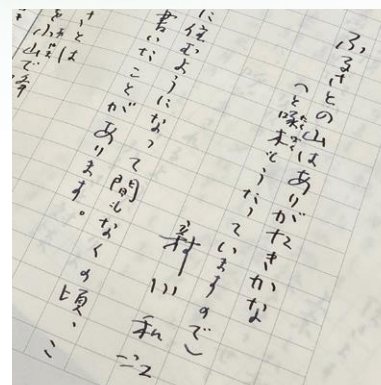
お約束の当日、NHK の車に便乗して江戸氏のご生家に運ばれ、広い庭先におろされました。私服にくつろいだ江戸氏が待っていてくださいましたが、初対面のご挨拶もそこそこに、私はお

庭を西側に回り、筑波山の容姿を求めました。

ところが、ところが、ところがです！男峰のあのすっとした立ち姿が見えないのです。見えないどころか、だらしなく寝そべっているではありませんか！「私の郷里の結城から見る筑波山が、一番美しいのです」と私は口走り、「いや、ここで見る筑波が一番！」と江戸氏も譲りません。しばらく問答が続いたあとで、双方その談義の幼さに気付く。日当りのいい縁側に腰かけて、お茶を頂いたのです。

しかし四十年余り経った今でも、思い出すと走って行って、寝そべっている山の肩のあたりを叩き、「どうしたの、起きなさい。立って奥さんの峯と、仲よく並んであげなさい！」と言ってやりたくなるのです。

私のふるさと自慢は、第一に結城紬、城下町の名残りのT字路の構造、節分に大釜やへっついを庭に持ち出して炊くすみつかれ、ほかにもいろいろあるのですけれど、万葉の時代からうたわれ続けて来た筑波山の、わけでも結城から眺めた山容の美しさに、ふれさせて頂きました。(原文ママ掲載)



寄稿いただいた原稿
(令和4年1月)



センダンの木は 新川和江先生そのもの センダンの木の集い 代表 関和代さん

センダンの木の集いは、「詩を書く人も、書かない人も、詩をととして『どのように生きるか』と一緒に語り合いましょう」という新川先生の想いのもと、平成16年に創設されました。先生の母校である絹川小学校に、思い出深い「梅檀の木」があったことが名前の由来で、学校の玄関には今も、初代・梅檀の切り株と、「センダンの木の下で」と題した先生直筆の詩が飾られています。集いは、毎月第1日曜日に市民情報センターで開いています。先生は高齢で参加が難しいのですが、参加者同士で先生の詩を朗読したり、創作詩を持ち寄って発表したりしています。詩の出来を評価するわけではなく、一人ひとりの心にある「新川和江」を大切に、先生の詩にふれる時間を“共有”している感覚ですね。



絹川小の玄関にある「センダンの木」切り株

先生はよく『豆を煮たら日本一』という言葉を使います。“豆を煮る”という日常の何気ない作業も、“日本一”だと自慢できるほど何度も何度も繰り返すことで、感覚が研ぎ澄まされ、新たな気づきが生まれる。『言葉は日常生活の中からし

か生まれない』という、先生の信念を正に表している言葉だと思います。

先生の心には常に「ふるさと結城」への想いがあります。ゆき図書館のギャラリー「新川和江コレクション」には、先生から寄贈された蔵書が約1万冊収めら



沢山のふせんが貼られた詩集

れていますが、寄贈の際に『私の魂が結城に里帰りした』と言っていました。それだけ、先生が歩んできた証である本や詩集を、結城に残せることが嬉しかったのではないかと思います。

先生の心がいつでも「里帰り」できる場所として、これからもこの集いを続けていきたいと思います。詩に限らず、俳句・川柳・小説など、創作活動に興味のある方はぜひ気軽に参加してください。



新川さんとセンダンの木の集いの皆さん (平成30年2月撮影)

問 センダンの木の集い
代表 関
☎ 080-3006-2539

実は「結城市民の歌」も新川さんが作詞されました♪

結城市民の歌は、1984(昭和59)年に市制施行30周年を記念して制定されました。

1 番 楽 譜 ※途中まで

作詞：新川 和江
作曲：岩河 三郎



1 番 歌 詞

おはよう結城 わたしたちの市
むらさきの筑波のみねから 太陽ののぼる市です
鬼怒川の流れのほとり 千年の昔も今も
娘らがはた織る音の 高らかにひびく市です
名にし負う 名にし負う つむぎのふるさと結城
※歌は3番まであります。詳しくは市ホームページへ。

防災行政無線から
「正午の時報」
として流れる曲が
結城市民の歌です!



第14回 新川和江賞 ～未来をひらく詩のコンクール～

2月13日、市民情報センターで「第14回新川和江賞～未来をひらく詩のコンクール～」の表彰式を行いました。詩の創作活動をととして、創造性豊かな青少年を育成し、新たな才能を発掘したいという新川さんの思いは受け継がれ、今年も市内在住・在学の小・中・高校生から、1,989 篇という多くの応募がありました。

新川和江賞（最優秀賞）に、登坂悠生さん（結城西小学校6年）の作品「おばあちゃんの庭」が輝き、優秀賞に12人、優良賞に31人の作品が選ばれました。

表彰式は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、例年より規模を縮小して行いました。



新川和江賞（最優秀賞）
「おばあちゃんの庭」

結城西小学校6年
登坂悠生さん



だれもないおばあちゃんの家
庭にはたくさんのお木や草花
おばあちゃんが大切に育ててくれたものだ
雑草が生え 木の枝がのびてしまったので
お父さんとお母さんが手入れをする
ばくも草むしりのお手伝い
すると 足元にありの行列
石のかげからあわてて走り出すカナヘビ
草むらからピョンとどび出して来たバツタ
花だんのすみにはアサガオの芽
一年生の時 おばあちゃんにあげた種から
毎年花をさかせているアサガオだ
たくさんのお木や植物たち
たくさんのお木や植物たち
だれもないおばあちゃんの家
でもその庭で
生き物たちは命をつないでいる
少しきれいになった庭を見て
おばあちゃんが
優しく笑ってくれたように感じた

講 評

選考委員長
詩人 武子 和幸さん

1 行目を読んだとき、そこにはふかい悲しみが感じられて、おばあちゃんは亡くなったのだなと思いました。しかし、その悲しみをうめるように、草が生え、ありがた行列をくみ、カナヘビがすばやく走り、バツタがピョンとどびだし、なつかしいアサガオが芽をだしている。おばあちゃんを思い出して涙がでそうですね。おばあちゃんのない悲しい場所には、たくさんのお木や植物が元気いっぱい生きていて、生命に満ちあふれている。おばあちゃんの笑顔のように。

そのとき悠生さんは、何を感じたのでしょうか。だれか亡くなっても、たくさんのお木や植物がその生まれかわりのように命をつないでいる。それだけで終わりではないのだよと、おばあちゃんが教えてくれたように感じたのかもかもしれませんね。とても心にひびきました。

以前、新川さんに「結城の子どもたちの詩の素晴らしいところはどこですか?」とお聞きしたところ、「豊かな自然と人々との濃密な関係の中に暮らしているの、理屈から入るのではなく、心に映った風景を素直に表すナイーブさが感じられ、とても心を打つ」と答えられました。この言葉は、新川さんが詩を書くとき一番大切にしていることだと思います。詩に説明は必要ありません。映った姿、感覚が捉えたイメージそのものが、詩だということでしょう。

新川さんは、「言葉への感受性」のきわめて鋭い詩人です。結城は、与謝蕪村が「北寿老仙をいたむ」という、きわめて近代的な感性に満ちた詩と言うべきものを書いたまち。その豊かな文化と自然の中で感受性が育まれ、さらにたくさんのお外国や日本の詩をよんで、言葉への強い関心と言語感覚を磨き上げていったのだと思います。



プロフィール

昭和13年東京都生まれ。日立市で育ち、茨城大学卒業。詩誌「白亜紀」同人。著書に「蛸娘(なめくじ)の夢」「イエツの影の下で」「モイライの眼差し」など。(一社)日本詩人クラブ元会長。茨城新聞「詩壇」選者

いにしえの文化の上に、あたらしい未来をひらく

市役所では毎朝始業前に館内で「結城市民の歌」を流しています。名誉市民・新川和江さんが作詞され、結城の原風景ともいえる情景を紡いだ素晴らしい詩です。その一節に「いにしえの文化の上に、あたらしい未来をひらく」という言葉があります。毎朝このフレーズを聴くたび、その使命を実感しております。

今月は、「活力あふれ文化が薫るまち結城」を目指す取組として、チームラボによる最先端デジタル技術を駆使したアートイベントや、結城家の歴史にまつわるイベントなど、大きな催事を予定しています。ぜひ、市民の皆さまのご来場をお待ちしております。

弥生三月を迎え、明るい穏やかな日常を取り戻すべく、市民の皆さまとともにコロナ禍を克服し、「かぎりなく伸びゆくふさと結城」を創っていきましょう。



結城市長
小林 栄

1階イベント棚 「音楽を楽しもう♪」から

くまの楽器店

安房 直子/作 こみね ゆら/絵【小学館】

野原の真ん中にくまの楽器店がありました。お店の名前は「ふしぎや」。お店にやってくるお客さんの悩みや望みを叶え、ぴったりの楽器を勧めてくれる不思議なだけどころするおはなしです。

2階イベント棚 「ガーデニングを愉しむ」から

育てたい花が たくさん見つかる図鑑1000

主婦の友社 / 編 【主婦の友社】

開花の季節、室内で楽しむ花、カラーリーフに分けて、それぞれの特徴と栽培ポイントを紹介。花色が一目でわかる「季節別花色カタログ」も収録。色とりどりの写真から、お気に入りの花を探してみませんか。

図書館へ行こう LET'S GO TO LIBRARY

く ゆうき図書館注目の図書を紹介します



ゆうき図書館 ☎ 34-0150



新着図書から

東大教授、 若年性アルツハイマーになる

若井 克子 / 著 【講談社】

東大教授で脳外科医でもあった若井晋。50代で若年性アルツハイマーと診断され、本人、家族は、どうなったのか。長い苦悩を経て病を受け入れ、新たな道へと踏み出した夫婦の軌跡を、妻・若井克子がつづります。

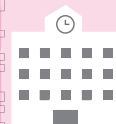
結城市ゆかりの図書から

ふしぎなたまご

たかしょういち/作 岡山伸也/絵 【絵本塾出版】

本市出身の岡山伸也さんが絵を担当した絵本。かわいらしく不思議なおはなし。幼稚園生のジュンくんは、ふしぎなたまごを見つけました。たまごは転がり木の上ののってしまいます。すると雷がなり、強い雨がふってきて・・・ジュンくんがみたものは？

ゆうき図書館1階に岡山伸也さんのコーナーを設けました。



MY SCHOOL TOPICS
学校自慢
Vol.10

結 城 中 学 校

「ゆう&あい」 (YOU&I)(勇&瞳)(結&愛)



<所在地>結城市小田林2600

結城中学校は、全校生徒673人の大規模校です。「ゆう&あい (YOU&I)(勇 & 瞳)(結 & 愛)」をスローガンに、日々の教育活動に取り組んでいます。

今年度は、「GIGAスクール構想」の下で整備していただいたタブレットを最大限に活用し、効果的な教育活動を展開しています。

4月の学年懇談会、5月の生徒総会、9月の臨時休校中のオンライン授業、10月の紫苑祭(文化祭)でのライブ配信など、生徒の活躍する姿を保護者や地域の皆さんに配信しました。通常授業でも、資料の閲覧や自分の考えを表現するツールとして活用しています。

今後も、このタブレットを最大限に活用した教育活動を推進していきます。



タブレットを活用した授業(数学)



オンラインでの生徒総会

YUKID'S 通信

ペットボトルで手作り簡単おもちゃ♪

「ペボトレイン」

いつもだったら捨ててしまう廃材も、楽しいおもちゃに大変身!好きなように走らせて遊ぶこともできます♪子どもたちのオリジナルトレインを作ってみてください★



材 料

- ペットボトル(100ml程度の小さいもの)
- ペットボトルのキャップ4個
- ストロー(太・細1本ずつ)
- グルーガン(強力接着剤でも可)
- ビニールテープ
- 目玉シール

作り方

- 1 ペットボトルに好きな色のビニールテープを巻く。
- 2 太いストローをペットボトルに取付け、細いストローを長めにカットして通し、ペットボトルのキャップを両側につける。
- 3 目玉シールを貼ったり、好きなように顔を作る。



※キャップに穴をあけてからストローを通して接着すると、強度が上がります。

できあがり〜♪

ホームページでは、おうちで楽しめるふれあい遊びや、おもちゃ作りの動画を発信しています!

問 市子育て支援センター ☎ 34-1070



リフォームから新築まで

- 住まいのリフォーム・小さなことでもご相談ください
- 見積り無料



結建築事務所

代表 吉田 結 yuu-yoshida

結城市新福寺2丁目21番地1
ウエルシア新福寺店西隣り

☎ 090-4834-9982

☎ 0296-32-0967

介護付有料老人ホーム しもふさの郷 百寿の家

サービス内容 介護付特定施設型有料老人ホーム
ショートステイ・居宅介護支援事業所
デイサービス・介護タクシー
グループホーム・企業内保育所



結城市大字武井1248 TEL 0296-35-0294 FAX 0296-35-6155
HPアドレス <http://www.shimofusa.ne.jp>

農事組合法人 宮崎協業

農地に関する
ご相談承ります。

お問い合わせはこちらまで
TEL: 0296-32-0391
FAX: 0296-32-0616
ホームページ <http://actnosato.com>



結城信用金庫は2022年5月26日
創立120周年を迎えます。
これからも地域の皆さまと
ともに歩んでまいります。
変わらぬご支援をお願い申し上げます。



地元とともに 心はひとつ
結城信用金庫

本店 ☎ (32)2111
南支店 ☎ (33)3171
城南支店 ☎ (33)0811

画家・佐藤洋子さんが風景画「冬隣・田川」を寄贈

画家の佐藤洋子さんから市へ、日展入選作品の油彩画「冬隣・田川」を寄贈いただき、2月7日、市役所1階市民広場で除幕式を行いました。

佐藤さんは小山市在住で、栃木や茨城の風景画などを描いています。今回の作品は、小山市から本市へ流れる「田川」の晩秋の風景を繊細に描いた、縦130cm・横162cm の大作。佐藤さんが結城蔵美館で展覧会を行った縁から、この度の寄贈となりました。

佐藤さんは、「結城の原風景を見た市民の皆さんが、懐かしさを感じたり、ほっとした気持ちになっていただければ嬉しいです。」と話しました。



マイナポイントの申込みをサポートします!

市役所1階の特設ブース(総合案内の北側)で、支援員がサポートします。気軽にご利用ください!

*申込の際は、マイナンバーカード、カードの4桁の暗証番号、スマホや電子マネーカードなどポイントを付与したい決済サービスが必要です。

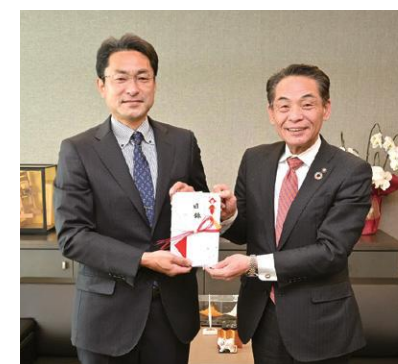
問 市企画政策課 政策調整係 ☎ 34-0404

公園に砂場を寄贈 キャノンオプトロン株式会社



キャノンオプトロン株式会社から市へ、公園に設置する砂場を寄贈いただきました。この砂場は、新井西公園(結城市鹿窪1744-8)に設置しています。ありがとうございました。

教育振興のため寄附 岩崎 勤さん (とまとやIWASAKI)



市内で農業を営む岩崎勤さん(とまとや IWASAKI)から市へ、教育振興のため寄附いただきました。ありがとうございました。

IT機器の楽しさ・怖さを伝える絵本を寄贈

IT企業のゼディアルークから市へ、絵本を寄贈いただきました。

子どもたちがIT機器の正しい知識を持って楽しく利用できるよう、IT機器の楽しさや怖さを学べる絵本です。

市内の幼児教育施設などに配布します。ありがとうございました。



令和3年度 統計功労者表彰

国勢調査など各種統計調査の調査員として長年にわたり従事し、受賞されました。

《総務大臣表彰》
會澤 勝雄さん

《茨城県知事表彰》
福田 豊さん
大橋 加代子さん
吉村 豊子さん

《茨城県統計協会総裁表彰》
小島 廣司さん
飯島 ひろみさん



左から會澤さん、大橋さん、吉村さん、小島さん

明治安田生命と 包括連携協定を締結

1月27日、本市と明治安田生命保険相互会社との間で、「包括連携協定」を締結しました。明治安田生命は、自治体と連携して市民の健康増進や地域経済の活性化などに取り組む「地元の元気プロジェクト」を展開しています。

今回の協定により、健診時の健康啓発や市内イベントへの参加など、地域活性化に関するさまざまな取組を進めていきます。



左から伊吹つくば支社長、小林市長

結城の文化や歴史が詰まった郷土かるた「結城王」が完成



かるた遊びをととして、子どもたちに友達・家族と交流しながら郷土愛を育んでもらおうと、本市の文化や歴史を題材にしたかるた「結城王」を制作しました。読札の文章と絵札のイラストは、市内在住・在校の小・中・高校生から募り、延べ2,189点もの応募の中から46作品を選定し、かるたに仕立てました。

市内の各学校や保育施設に配布するほか、市ホームページで全ての読み札・絵札を公開しています。また、3月中は市役所1階ホワイエで展示も行いますので、ぜひご覧ください。



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ

JAは、食と農を基軸とする「地域に根差した協同組合」です。組合員の一人ひとりが力を合わせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JA北つくば

〒308-0051 茨城県筑西市岡芹 2222
電話 0296-25-6600(代) 総務部

職員採用説明会開催中
詳しくは当JAのHPへ
http://www.ja-kitatsukuba.or.jp/

身近な法律問題のご相談は、お気軽にお問い合わせください。

つくばね法律事務所

下記相談 30分無料
債務整理
交通事故
相続・遺言

〒304-0801 下妻市大園木2839-1大建ビル2階
電話受付時間：平日 9時～18時
定休日：土・日・祝日
TEL:0296-30-5600
www.tsukubane-law.com

茨城県弁護士会所属：門井 節夫、関 健太郎、高中 学、飯塚 夏樹、山本 大介

春のスタート 応援キャンペーン

無料体験受付中

親子 幼児 小学生 大人のクラス

習い事 No.1 は スイミング

特典1 入会金 通常 5,500円 0円
特典2 通常 2,200円 水泳バックプレゼント

※※※短期水泳教室受付中

コース	期 間	時 間	対 象	受講料
3日間	3/25(金)~27(日)	8:30	4才~小学生	5,500円
5日間	3/25(金)~29(火)	9:45	5才~中学生	9,350円

4/9(土)泳力検定実施(別途申込)

日本水泳協会 ささはら水泳塾 TEL33-1521

達生堂グループ

社会医療法人 達生堂 城西病院
社会福祉法人 達生堂
公益財団法人 茨城国際親善厚生財団

城西病院 TEL 0296-33-2111 Fax 0296-32-1937
〒307-0001 結城市結城10745-24

医療から福祉まで、お気軽にお問い合わせください。夜間・休日診療は電話の上お越しください

